

平成19年度東海地区歯科医師会役員連絡協議会開催	1
支部長会開催（後期高齢者医療制度（国保組合）について協議）	2
5月理事会報告（本年度事業運営について協議）	4
6月理事会報告（支部長会附議事項について協議）	6
平成19年度歯科助手講習会開催	9
平成19年度学校説明会開催	10
平成19年度三重県歯科医師会障害者歯科研修会	10
歯の衛生週間事業の県審査実施	12
社会保障部門社保コーナー	
・医療保険研修コーナー（画像診断の注意事項）	16
・資格関係誤りレセプト発生防止にご協力を	
会員事業部門生涯研修コーナー（今月の生涯研修該当論文）	18
委員会便り	20
5・6月会務日誌	20
会員消息のページ	21
顧問の交代について	22
告知板	
・平成19年度朝日大学歯学部同窓会三重県支部研修会のご案内	23
・三重県歯科医師親善ゴルフ大会開催決定!!	
・平成19年度四日市歯科医師会医療管理学会開催のご案内	
会員の広場（東海4県歯科医師親善ゴルフ大会 盛大に開催!!）	24
互助会各部・歯科国保組合の現況	25
編集後記	27

平成19年度 東海地区歯科医師会役員連絡協議会開催

平成19年5月12日(土)、ホテルアソシア静岡ターミナルにて、静岡県が当番県となり上記協議会が開催された。今までは国保組合役員連絡協議会も同時開催されていたが、今回は別途開催となった。

協議会は、竹下朝也静岡県歯専務理事の司会進行で、柴田晴男静岡県歯副会長の開会の辞で始まった。

冒頭挨拶に立った飯島 理静岡県歯会長は、「様々な改革が目白押しになっている中、生活に軸足を移しながら、医科や歯科を受診する方が増えてきている。社会的構造が動いており、医療関連法案を含め変革の嵐が吹き荒れている。日歯は、高齢者医療制度や生活習慣病対策等で新機軸を打ち出しており、実を結び具体化できるよう、私達も支援していかななくてはならない。」と述べた。続いて来賓挨拶に立ったご当地出身の柳澤厚労働相は、「口腔医療が、身体全体の健康に非常に重要な役割をもっていると言われるようになってきている。口腔医療に携わっている歯科医師の努力が、行政が行っている健康政策・医療政策に重要な役割を担っている。」と述べ、「新健康フロンティアの中でどういう取り組みをしていくか議論されており、特に平成20年からどういうスタートを切るかが重要になってくる。」と今後の医療への取り組みや情勢を報告された。

次に大久保日歯会長が挨拶に立ち、「新健康フロンティアの中の9項目の中に、『歯の健康力』が独立して入ったことは、大変喜ばしいことだ。」と述べ、今後の活動がより一層大切なことを強調した。さらには来年に控えた診療報酬改定に向けた取り組みと方針を述べ、来賓挨拶とされた。

また、参議院選挙を控えた渡邊敏弘日本歯科医師連盟理事長は、「来年の診療報酬プラス改定を目指す。支援者名簿の提出にご努力、ご協力をお願いしたい。」と話した。

その後、座長に飯島静岡県歯会長を選出し、物故者への黙祷に続き、東海地区歯科医師連合協議会表彰が行われ、三重県からは林 繁雄(鈴鹿)前副会長が表彰された。

次に大久保満男日歯会長による「歯科保健医療の現状分析と今後の課題」と題した講演が行われ、さらに自由民主党社会保障制度調査会医療委員会委員長の鴨下一郎衆議院議員による「医療政策の現状および今後の課題」と題した講演が行われた。鴨下議員は「歳出改革に向けて様々な取り組みがなされているが、市場原理と社会保障制度は考え方がおのずと違う。今、歯科医師会の先生にも国の財政・政治にもっと関心を持って戴きたい。」と現在の状況を説明された。また、「プライアマリーバランスをとるために社会保障制度をどうす



柳澤伯夫厚生労働大臣



鴨下一郎衆議院議員

るかが3月に財政諮問会議の民間議員より出されており、『高コスト構造是正プログラム』の策定を突きつけられている。しかし社会保障についてはどんどん削ればいいのではなく、それにより質の低下・インフラの崩壊・国益の損失が起こるんだという形を国民を挙げて作っていく必要があると考えている。」と我々と同じ方向性を示された。さらに『高コスト構造是正プログラム』に盛り込

むべきとして挙げられている、①診療報酬の見直し、②IT化の徹底、③医療の標準化等々についても詳細にかつ分かりやすく説明された。

講演終了後、日歯、日歯連盟の会務報告があり、さらには決算・予算関連の4議題が可決承認された。次期当番県となる宮村一弘愛知県歯会長の挨拶があり、太田昭二静岡県歯副会長の閉会の辞で協議会を終了した。

支部長会開催

後期高齢者医療制度(国保組合)について協議

開催日：平成19年6月28日(木)

開催場所：三重県歯科医師会館

橋本副会長の司会進行により支部長会が開催された。議事録署名人には西岡支部長(志摩)、武田理事が指名され、峰会長の挨拶、中央情勢、一般会務等の報告事項に続き、平成20年より創設される後期高齢者医療制度に対する国保組合の対応について協議された。

会長挨拶

参議院議員選挙が1週間延びて、7月12日公示、29日投票となりました。年金問題等出てきていますが、我々としては歯科界を中心に考えていきたいと思えます。県立公衆衛生学院の問題ですが、他の県で一度廃止の決まった歯科衛生士学科が、これからの社会に必要なであるということで県立での存続が認められたケースもあり、良い方向に向いてきたのではないかと考えています。

報告事項

1. 会長報告(峰会長)

平成20年度診療報酬改定についてであるが、情報提供文書に関する中医協検証部会のアンケート結果が報告された。日歯のアンケートと概略はほぼ一致しているが、患者と医療機関の認識にかなりギャップがあった。文書による情報提供に満足

している患者の約4割から、「2回目からは症状に大きな変化のあったときで良い」、「もっと簡単に判り易いものにしてほしい」、「口頭の説明で十分」、「いつも同じような内容で不満足である」との声があり、情報提供の内容や方法については次期診療報酬改定の検討課題であるとされた。何らかの形で文書提供は改善されると考えてよいであろう。

日歯の診療報酬改定基本問題検討チームが、診療報酬のあり方に関する現時点での考え方を5月に出した。具体的方針として、(後期)高齢者医療制度改革等への対応、少子社会への対応、全世代への対応、その他に分けてまとめられている。

医療制度改革に関連した骨太基本方針2007が発表され、平成20年度から5年間、「医療・介護サービスの質向上、効率化プログラム」等を推進することになった。

診療科名の標榜の見直しの検討が進められてい

るが、歯科の4診療科名については現行のままである。サブスペシャリティとして、診療科名「歯科」のサブに「義歯」、「審美」、「インプラント」などが標榜可能となる。

2. 一般会務報告（石垣専務理事）

- (1) 会員数：一般693名、勤務24名、終身138名、特別7名、法人5名、計863名
- (2) 職業紹介事業：求職8名、求人68名、紹介1名、まとまったもの0名
- (3) 平成19年度歯科衛生士求人：伊勢、度会、鳥羽、志摩の卒業生が多い

3. 各部事業報告

〔公衆衛生〕中井常務理事

平成19年度8020運動推進特別事業のうち、特別枠として口腔ケアステーション介護予防モデル事業、フッ化物洗口推進モデル事業を10月以降に実施するので、支部で検討をお願いしたい。

〔学 術〕高森理事

9月2日に平成19年度三重県歯科医学大会を開催する。講師は東京女子医科大学先端生命医科学研究所客員教授の石川 烈先生、演題は「だれもが成功する歯周治療と最近の歯周再生治療の進歩」、「歯周病が全身に及ぼす影響について」である。

今回のオンデマンド配信はゴシックアーチ、チェックバイトである。

平成19年度日本歯科医学会学術講演会が、宮城、徳島、名古屋、京都で開催される。

〔医療管理〕齋藤常務理事

医療法改正により、医療の安全を確保するための歯科診療所における各種指針、手順書、計画の



齋藤常務理事

モデル及び編集例を全会員に送付した。日歯のホームページに電子媒体版を公開しているので、各歯科医院用に加工して整備して戴きたい。

平成19年度から、医療廃棄物のマニフェストの交付状況を県へ報告することが義務付けられた。19年度分は20年6月までに県環境事務所へ提出する。ただし、電子マニフェストを使用すれば報告は不要となる。

〔社会保障〕田所常務理事

平成19年度行政指導方針であるが、集団指導は今年も無い。集団的個別指導は全医療機関の8%で、対象者には社会保険事務局から連絡が行く。日程は8月30日（木）。個別指導は9月以降に20医療機関で行われる予定である。

金属床、う蝕に罹患している患者の指導管理、歯科衛生士実地指導料を算定している医療機関は、状況報告を8月3日（金）までに三重社会保険事務局に提出する。



田所常務理事

〔広報編集〕辻理事

対外広報活動として、県歯会のシンボルマークを募集する。会員にも応募資格があり、患者にも周知して戴きたい。

〔質問事項〕

Q：桑名支部長（桑員）

地域歯科医療センター（仮称）と口腔ケアステーションの関連についてお尋ねしたい。

A：中井理事（公衆衛生）

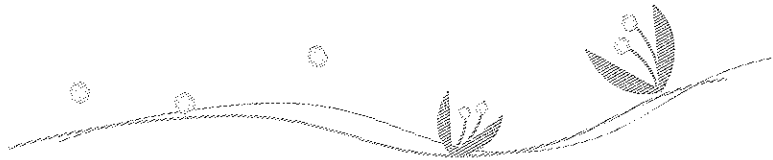
地域歯科医療センターは日歯が現行の口腔保健センターを位置付けたもので、口腔ケアステーションは県が整備を進める構想のものである。

協議事項

平成20年度からは、75歳以上になれば歯科国保の組合員も含めすべての人が市町の後期高齢者医

療制度に入る。75歳以上になった組合員の継続、退会について、また継続した場合の保険料について協議された。

(広報編集委員・福森哲也 記)



5月理事会報告

本年度事業運営について協議

開催日：平成19年5月10日(木)

開催場所：三重県歯科医師会館

5月理事会が開催され、本年度事業運営についての協議が行われた。

会長挨拶

4月29日に津都ホテルで、三重県歯科衛生士会のNPO法人結成記念式典がございました。冒頭の挨拶で、「今後益々広がる歯科衛生士の活動範囲をNPO法人という特徴を活かして、組織としてアシストできる体制を作って戴き、三重県の歯科保健を充実させて下さい」という話をさせて戴きました。歯科衛生士会の方々も、新たな決意で活動を行って戴けるものと期待しております。

本日はゴールデンウィーク明けということで、先生方もリフレッシュされたことと思いますので、よろしくお願ひしましてご挨拶とさせていただきます。

報告事項

1. 会長報告

「8020の里づくりフォーラム」が解散することになった。このフォーラムは「フォーラム8020」

として出発し、東海地方は愛知県、東北・北海道地方は北海道を中心に8020運動推進のための活動を行ってきた。8020推進財団設立後、フォーラム8020の役目は終わったという議論もあったが、8020推進財団に協力しながら、住民参加による健康づくりを支援できる組織として継続しようとのことから「8020の里づくりフォーラム」という名前に変更して活動をしていた。しかし、8020推進財団が平成20年度までの事業計画において、住民参加による歯科保健の推進を期した「新8020運動」を提言したことにより、「8020の里づくりフォーラム」の目指す方向と同じであり、フォーラムとして果たすべき役割を8020推進財団に託せるので、解散するということである。

日本歯科医師会が、平成20年度から施行される後期高齢者医療制度に対応するための「検討プロジェクトチーム」を立ち上げることを明らかにした。プロジェクトチームは、社会保障審議会特別

部会が4月に発表した「後期高齢者医療制度の考え方」の中に医師、歯科医師、薬剤師、看護師らが相互に協力しながら医療提供を行うことが明記されたことを受けて、具体的な対応策などを検討するために設置するとしている。構成メンバーは未定だが、歯科医師会の他にも、歯科衛生士会や日本歯科医学会関係者が入って、5月中にも初会合を開き、「75歳以上の元気な高齢者を増やすための国民運動や在宅の歯科医療の在り方を議論してもらおう」としている。この検討プロジェクトチームのメンバーに若い先生を積極的に採用して欲しいと思う。

レセプトオンライン化について、規制改革会議が重要検討課題として、①レセプトのオンライン請求の推進、②レセプト請求のオンライン化を促進する施策の検討、③レセプトのオンライン請求に対応した審査・支払い業務の見直し、④保険者によるレセプトの直接審査等についての取り組み方針、を示した。この中で「厚生労働省令で定められたレセプトのオンライン請求の期限に対し、例外規定を設けず、また期限（原則平成23年度から完全オンライン化）以降、オンライン請求以外の方法によるレセプト請求に対して診療報酬が支払われないことを明確化する」として、かなり強行な姿勢でオンライン請求以外は認めない方針を示した。このレセプトオンライン化は制度的にも決まっていくということであるので、今はもう反対している時期ではないと考えている。反対するよりも制度に合わせて県歯として会員に情報の提供や指導をしていきたいと考えている。

2. 一般会務報告

- ・無料職業紹介所事業報告（累計）：求職6件、求人67件、紹介0件、まとまったもの0件
- ・県歯ホームページアクセス集計：2,745件
- ・5月、6月行事予定
- ・第12回三重県歯科保健大会のテーマについて：今年度もテーマが「幸せ育む健康家族」、サブテーマとして～地域が支える8020～とする。（承認）
- ・日歯会議報告：日歯戦略会議報告（齋藤常務理事）

3. 各部事業報告

～会員事業部門～

[学 術]

- ・平成19年度三重県歯科医学大会：平成19年9月2日（日）午前10時から、東京女子医科大学教授の石川 烈先生にペリオ関係と再生医療、歯周病と糖尿病（全身疾患）についての講演をお願いしたい。（承認）

[医療管理]

- ・歯科相談（4件）
- ・事業報告：インターンシップ事業について、現在、教育委員会より各高校へ案内され、8月から実施される予定。
- ・歯科助手講習会：出席者90数名で、例年と比べ増加している。
- ・医療安全への対応について：2、3月会報と一緒に、医療法改正に関する資料を送ったが、7月頃に日歯が各会員用に「歯科診療所医療安全管理指針」を出す予定である。

～地域保健部門～

[障 害 者]

- ・障害者歯科研修会について：平成19年7月1日（日）に広島大学病院准教授の岡田 貢先生を講師として、「障害者（児）があなたの歯科医院に来院したら」という演題で障害者歯科研修会を開催する予定である。抄録、岡田先生の履歴書を5月会報に同封したい。（承認）
- ・障害者の表記について：障害者の「害」という字を「がい」とひらがなで表記することについて、まだ障害者歯科学会でも統一されていない部分もあるが、早めに変更したいと考えている。

[公衆衛生]

- ・公衆衛生委員・支部担当者連絡協議会出席報告：今年度行う介護予防研修会等の8020運動推進特別事業の説明と協力依頼。
- ・事業活動報告：「園からはじめようフッ化物洗口（リーフレット）」の作成について。このリーフレットは保育園や幼稚園の先生、保護者に対して、フッ化物の説明と認識を深めてもらうために作成。

2007・7・8

・学校健診入力ソフトの作成について：小中学校の学校健診で使用している児童生徒健康診断票について、手書き入力からパソコンで入力できるソフトを作成し、そのソフトを各学校に配布して、現在12歳児のみのDMFTしか分からないデータを各年齢毎に把握し、今後の歯科保健活動に活かしたいと考えている。

～情報処理部門～

[広報編集]

・広報編集委員会出席報告（5/12）：シンボルマークの一般公募についての話し合いを行い、来月理事会に募集要項の案を提示したいと考えている。

・報道回り報告：歯の衛生週間、三重県歯科保健大会、シンボルマークの募集の件について、中日新聞、FM三重、三重テレビへ報道の依頼。

[企画調査]

・企画調査委員会出席報告：アンケート、事業評価について検討。

承認事項

・会員数：一般693名、勤務24名、終身138名、特別3名、法人5、合計863名

協議事項

○会務並びに事業の運営について

6月理事会報告

支部長会附議事項について協議

開催日：平成19年6月7日（木）

開催場所：三重県歯科医師会館

6月理事会が開催され、支部長会附議事項等についての協議が行われた。

会長挨拶

本日はお忙しい中、6月理事会にご出席戴きましてありがとうございます。

5月12日（土）には静岡で東海地区役員連絡協議会が行われ、今月末には支部長会、来月には代議員会と会議が続きますが、体調にはくれぐれも気をつけて戴きたいと思っております。

それでは、本日も色々ご協議をお願いいたしまして、最初の挨拶とさせていただきます。

報告事項

1. 会長報告

日本歯科医師会の渡辺常務が中医協の総会で、

平成18年度診療報酬改定で診療に伴う患者への文書提供が大幅に増えたことに対して「必要な時に必要なものを出すことは大事」としながら、日本歯科医師会のアンケート結果から、1日の診療時間の1割程度が文書作成に費やされることなどを説明し、簡素化を求めた。文書提供の問題については、中医協の診療報酬改定検証部会が行った調査では、患者の7割が「満足する」と回答した一方で、7割の歯科医師が「変わらない」と回答し、意識の隔たりがあるようだが、患者の4割が「変化がない場合は不要」と回答し、「口頭の説明で十分」、「いつもと同じような内容だから」等の理由で不満足であるという患者も全回答者の約1割いることから、情報提供の内容や提供方法等に

については、次期診療報酬改定に向けての検討課題として考えられるとしている。また、医師代表で日医の竹嶋副会長は、「医科の立場から見ても歯科の患者への文書提供の量が多い」と擁護する意見をしてくれた。医師会側からこのような意見を言ってくれて大変ありがたいと思う。

日本歯科医師会、日本歯科医学会、日本歯科商工協会が、「歯科医療機器産業ビジョン案－最先端歯科医療による健康長寿社会の実現－」を厚労省に提出した。内容としては、歯科のイノベーションを強化するための課題として、インプラントの国産化や再生医療技術の応用、企業の統合、協業関係の構築、法制度への提言、治験環境の整備などを挙げている。今回このビジョン案を歯科界がまとめた理由には、平成16年に厚労省が出した「医療機器産業ビジョン」に歯科の文言が少なかったことが挙げられる。今年は「医療機器産業ビジョン」の見直しが行われ、今後の見直しに対して先手を打って出したということである。今後大変複雑な社会になってくるが、それに遅れを取らないように先手に対応してもらいたいと思う。正式なビジョンはこの案に若干の文言修正を加え、今夏をめどに提出される予定である。

診療科名の標榜の見直しについて検討を進めている厚労省の医道審議会医道分科会診療科名標榜部会が、現行の医科診療科名の33を20に見直したときの診療科名やサブスペシャリティ等の部分の考え方を示した。その中で歯科の場合は現行通り4診療科名で変わりがないが、サブスペシャリティとして「義歯」、「審美」、「インプラント」などの標榜も条件を満たせば可能になり、インプラントが法的に通るような時代がやってきたということである。医科については、総合科が新設されるとしているが、総合科医を誰にするのかとか、あるいはフリーアクセスの阻害であるということも理由に、日本医師会はこの総合科の創設には会を挙げて反対しているようである。

2. 一般会務報告

・無料職業紹介所事業報告（累計）：求職8件、求人68件、紹介1件、まとまったもの0件

- ・県歯ホームページアクセス集計：2,592件
- ・6月、7月行事予定
- ・日歯会議報告：日歯社保委員会（田所常務理事）、日歯戦略会議報告（齋藤常務理事）
- ・日程変更について：代議員会、組合会、評議員会7月26日(木)→7月19日(木)、議事運営委員会7月19日(木)→7月15日(日)、歯科保健大会実行委員会7月19日(木)→7月26日(木)
- ・24時間体制年金相談窓口開設のポスターについて：三重社会保険事務局から各診療所にポスター掲示の依頼があったので、6月会報に同封して送付する。

3. 各部事業報告

～社会保障部門～

[社会保障]

- ・事業活動報告：社保委員会出席報告(5/10)

～会員事業部門～

[学 術]

- ・東海地区歯科医師会学術担当役員連絡協議会出席報告(5/12)：日歯生涯研修セミナーの開催について、東海地区は2箇所で開催することになっているので、愛知県で毎年1回開催し、静岡・岐阜・三重の順で1回開催するということが決定した。

・平成16・17年度日歯生涯研修事業について：都道府県別参加率で三重県が98.6%で1位になった。修了基準達成率は12位で、平均取得単位は56.1%、認定基準達成者は10位で16.3%が認定達成した。

- ・学術情報配信コーナーの掲載について：会員用ホームページの学術情報配信コーナーにゴシックアーチとチェックバイトを掲載したい。(承認)

～地域保健部門～

[公衆衛生]

- ・8020推進財団ワークショップ出席報告(5/15)
- ・後期高齢者医療制度担当者会出席報告(5/16)
- ・三重県歯科保健大会第1回実行委員会出席報告(5/17)：講師について検討。
- ・三重県学校保健会理事会出席報告(5/31)：役員の改選期だったが、評議員として羽根理事と公衆衛生委員の津田委員、役員として森谷副会長が

副会長、中井常務理事が理事として引き続き任期2年することになった。

・生活習慣予防を目指した歯・口の健康づくり調査研究事業連絡協議会出席報告(6/6)

・8020運動特別事業について：フッ化物洗口についてのリーフレットとマニュアルを作成し、保育園や幼稚園に配布する予定。

～情報処理部門～

[広報編集]

・シンボルマーク募集要項について：応募資格はプロ・アマチュアを問わず、三重県在住か勤務、通学されている方に限定し、副賞として最優秀10万円(1点)、優秀5万円(1点)、佳作2万円(3点)。周知方法については新聞、デザインを専攻している学校、公募サイトに掲載する。(承認)

～総合組織改革部門～

・選挙規程改定臨時委員会出席報告(5/17)：委員長に松阪の吉田支部長、副委員長に四日市の浅野支部長を決定した。

承認事項

・会員数：一般693名、勤務24名、終身138名、特別3名、法人5、合計863名、新入会員〔四日市支部〕上條英利先生(承認)

協議事項

1. 支部長会の招集並びに附議事項について

招集日：平成19年6月28日(木)10:00～

附議事項：①後期高齢者医療制度について(国保組合関係)、②支部長よりの提案事項について

2. 地区別講習会について

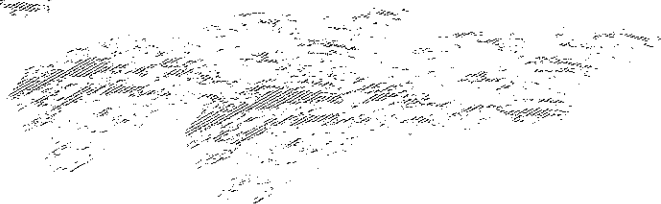
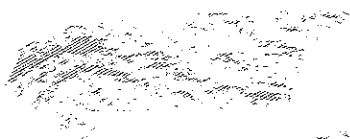
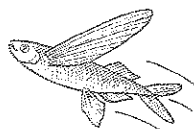
3. 会務並びに事業の運営について

4. その他

①東海・信越地区歯科医師会専務理事連絡協議会の協議題について

②第198回定時代議員会の開催日変更について

③緊急地震速報受信装置の斡旋販売について(協同組合)



平成19年度 歯科助手講習会開催

平成19年度の歯科助手講習会を、以下の日程で開催した。この事業は日本歯科医師会からの委託事業で、県歯会では原則として会員診療所勤務1年以内の歯科助手を対象に毎年募集している。全日程修了者には県歯会より履修証書が、日歯会からは歯科助手資格認定書が渡される。今年度は90数名の参加を得た。

また、ここ数年は80名前後の参加者を得ている。

第1日目 4月15日(日)

AM10:30~12:00

「保険診療のしくみ」

講師 県歯会社会保障担当理事

PM 1:00~4:00

「歯科助手の心得と一般教養」

講師 目賀田美奈子(オフィス プレイズ)

第2日目 4月22日(日)

AM10:00~12:00

「歯学概論と消毒法」

講師 県歯会医療管理担当常務理事

PM 1:00~3:00

「歯科用器具・器械・材料・薬品及び救急処置」

講師 県歯会医療管理担当理事

第3日目 5月10日(木)

AM10:00~PM 3:00

実習：各種印象材、セメント、石膏の扱い及び
 血圧測定

講師 県歯会医療管理委員全員
 株式会社ジーシー名古屋

第4日目 5月20日(日)

AM10:00~12:00 補綴・口腔外科・保存

PM 1:00~3:00 歯周病・矯正

講師 脇田、久保、藤田、荒木田、橋爪の各
 医療管理委員が分担

第1日目は、開会に際して齋藤常務理事より現在の歯科界の現状等について挨拶があり、午前は、社会保障担当の太田理事が保険診療のしくみや基礎知識、制度の概要、受付事務などについての講義を、午後は「歯科助手の心得と一般教養・接遇



向上セミナー」と題して、オフィスプレイズ代表目賀田美奈子氏が講演と接遇実習をそれぞれ担当した。特に挨拶、言葉遣い、相手との距離などを実際に受講者がペアになって実習したが、初めての経験のためか、かなり戸惑う場面もみられた。

第2日目午前は、齋藤常務理事が「歯学概論と消毒法」の講義を行った。歯科医院の状況から薬品、感染、個人情報保護法に関する注意まで幅広い内容であった。午後は担当理事がまず「歯科用器具・器械・材料・薬品」について、続いて「歯科治療時の救急処置」について講義した。

第3日目は委員会全員とジーシー社員により、アルジネート・ラバー印象、石膏・セメント練等を、さらに委員の協力を得て血圧測定の実習を行った。血圧測定については昨年の反省も含め、やり方を工夫してみたところスムーズに行うことができた。

他の実習については経験にかなり個人差がみられたが、概ね時間通りに終了した。

第4回目は各委員がスライド、動画、テキストなどを使って歯科臨床の各論の講義を行った。

すべての予定を終了後、齋藤常務理事より挨拶があり、代表者に三重県歯科医師会の履修証書が手渡された。今年度の履修証書授与者は69名であった。また後日、日本歯科医師会より歯科助手資格認定書が郵送される予定である。

全体を通して概ね問題なく終了したが、今後、内容を検討し、さらなる充実を図っていきたい。

(医療管理担当理事・福田幸弘 記)

平成19年度 学校説明会開催

6月14日(木)午後2時から4時30分まで、県歯会館2階大会議室で学校説明会が開催された。これは三重県歯科医師会主催で、事前に応募があった県内18校の高等学校の進路指導教諭に対して、質の高い学生を募集する目的で、県立公衆衛生学院・ユマニテク歯科衛生専門学校・伊勢保健衛生専門学校の代表者が各学校の特徴、入学案内等を説明する会議である。

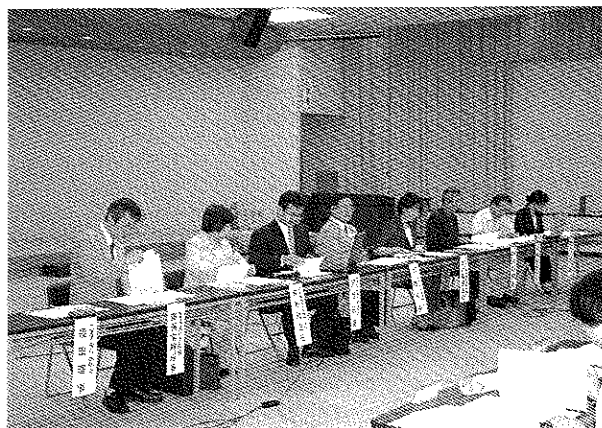
まずは齋藤常務理事、ユマニテク歯科衛生専門学校の大橋学校長より、歯科分野の現状や歯科衛生士の福祉分野での業務拡大傾向等についての挨拶があり、その後、担当理事がコ・デンタルスタッフの職種、職務内容、就職状況等についてスライドとビデオを使って説明した。次に各専門学校の担当者からそれぞれの特徴、学習内容、募集要項等についてスライド・DVD等でプレゼンテーションが行われた。

質疑応答では、県立公衆衛生学院の3年制移行の問題について質問があった。これに対し、同校の池山学院長が、「今、県で協議中であり、今年

度中には何らかの方向がみえるだろう」と回答した。説明会はここで終了し、その後、各専門学校の担当がそれぞれのブースに別れて個別懇談を行ったところ、行列ができる盛況ぶりであった。

以前からの歯科衛生士不足問題、歯科衛生士の業務内容の変化、さらに、患者の医療に対する認識の変化、技術や材料の多様化等の様々な状況の中にあって、より質の高いコ・デンタルスタッフの育成は必要不可欠であると考えられる。

(医療管理担当理事・福田幸弘 記)



平成19年度

三重県歯科医師会障害者歯科研修会

『障害者(児)があなたの歯科医院に来院したら』

平成19年7月1日(日)午後1時30分より県歯会館にて、広島大学病院口腔健康発達歯科障害者歯科診療科長・岡田 貢准教授にご講演戴きました。

梅雨時の日曜日にもかかわらず、106名(歯科医師43名、歯科衛生士63名)の方々が参加され、当初予定していた1階の教育センターから2階の大会議室へ場所を変更しました。

【講演内容】

まず、障害者歯科治療を困難にしている理由と

して、患者(児)を持つ親が抱く思い(診てもらえるか、他の患者に迷惑をかけないか、受付で断られるのでは等)と歯科医師が抱く不安(緊急事態が発生したらどうするか、歯科治療が原因で病気が一層ひどくなるのでは等)がある。

<障害の区分と歯科的問題>

(1) 脳性麻痺(CP)

- ・抗痙攣剤による歯肉増殖
- ・クレンジング

- ・開口させると口呼吸、気道閉鎖、呼吸困難、誤嚥を起こすことがある

V Fによる嚥下造影を見せて戴き、喉頭蓋の働きと誤嚥の危険性を認識した。

(2) てんかん (E p i)

てんかん発作に対しては「あわてない」、「騒ぎ立てない」、「身体を揺すったり口腔内に物を入れない」が原則で、冷静な対処を心がけ、何よりも保護者にチェアサイドにいてもらうことである。

(3) 精神遅滞 (MR)、ダウン症共に基本的に怖がりであり、痛みを与えない(無痛処置)ことが原則である。特に、ダウン症は平均年齢の高齢化に伴い、歯周治療の必要性が高まるであろう。

(4) 自閉症

- ・パターンからはずれるとパニックになる
 - ・身体の拘束を拒絶する
 - ・新しいパターンを形成するのに時間がかかる
- 以上の問題点よりTEACCH programの活用が有効である。

単に絵や写真を見せることがTEACCH programではなく、基本的な考え方の1つとして、

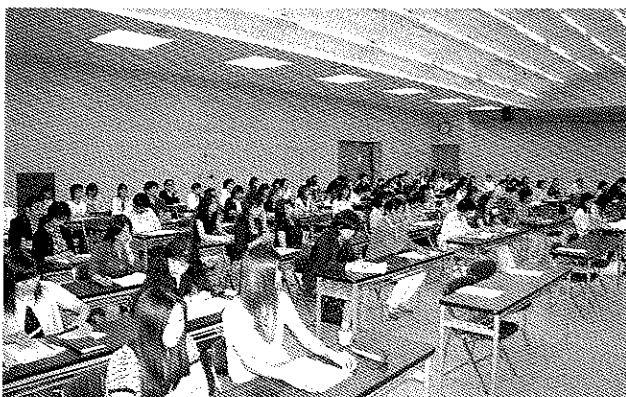
1) 物理的・空間的構造化

どこで何をするのかを分かりやすくする。

2) 時間の構造化

いつ始まり、いつ終わるのかを分かりやすくする。

以上の事項を目で見分けるようにスケジュール化したのが視覚的支援法である。



岡田 貢 先生

<ビデオ症例1>

絵カードと10カウント法にて抑制なしでCR充填を行った。

<ビデオ症例2>

入室後チェアに乗るが、一度待合室に戻り、再度チェアに乗ってから治療を開始する。抑制なしで根管治療を行った。

大変参考になるビデオで、特に2例目の行動パターンを見つけるまでには相当な時間と労力を費やされたとお聞きしました。広大・障害者歯科では、抑制は約10%でそのほとんどがCPであり、自閉症患者の治療には

- 1) 行動パターンを知るためのトレーニング
- 2) 親への詳細な問診とコミュニケーション

が重要であると力説されました。

ここまでで予定の2時間が経過し、その他の情緒障害、障害者のQOLの向上等、簡単な解説で終了となりました。その後の30分の質問時間も超過するという熱気を帯びた研修会でありました。

最後に、講演の時間的配慮の不足と音声の不備につきまして、この誌上をお借りしてお詫び申し上げます。

(障害者担当理事・武山 一 記)

歯の衛生週間事業の県審査実施

母と子のよい歯・よい歯の児童・図画ポスター



歯の衛生週間に基づいて県下各地で実施戴きました各コンクールにつきまして、6月28日(木)に母子及び児童の、7月5日(木)に図画ポスターの県審査が行われました。支部審査にご協力を戴きました各支部の先生方、並びに市町関係者の方々に紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

今年の県審査は、母子及び児童審査は模型と書類による審査にて行われました。まず、支部審査を担当した公衆衛生委員による審査の後、県、県教育委員会、歯科医師会による最終審査にて受賞者を決定いたしました。

審査委員

◎よい歯の母子・児童

三重県健康福祉部健康づくり室主幹	芝田登美子
三重県教育委員会生徒指導・健康教育室指導主事	上田ゆかり
三重県歯科医師会専務理事	石垣 宏己
三重県歯科医師会公衆衛生委員	

◎図画・ポスター

津市立櫛形小学校校長	稲垣 雅敏
津市立栗真小学校教頭	古金谷初美
三重県教育委員会生徒指導・健康教育室指導主事	小倉 司

◎よい歯の母子・児童、図画・ポスター

三重県歯科医師会常務理事	中井 孝佳
三重県歯科医師会理事	羽根 司人

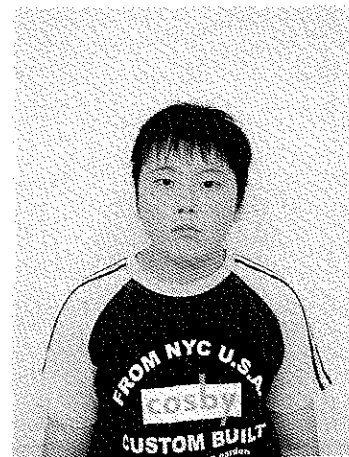
第56回母と子のよい歯 (県審査結果)

最優秀	脇田 直子・恵 輔	伊賀支部
優 秀	伊藤 愛子・嵩 悦	桑員支部
〃	渡辺恵美子・桃 子	四日市支部
〃	吉田 直子・温 紀	鈴鹿支部

優 秀	渡邊 里佳・翔太郎	亀山支部
〃	黒川 悦子・茉 尋	津 支 部
〃	藤川 雅美・実 夕	松阪支部
〃	湯前 宏美・美 優	伊勢度会支部
〃	岡 憲子・拓 麻	志摩支部
〃	芝原 里美・綾 乃	尾鷲支部
〃	林 友美・れ ん	南紀支部

平成19年度よい歯の児童 (県審査結果)

最優秀	碩 野 健 太	松阪支部
優 秀	浜 田 惟 寛	桑員支部
〃	海戸田 詩 乃	四日市支部
〃	桐 生 愛 理	鈴鹿支部
〃	坂 友 貴	亀山支部
〃	橋 本 伊 織	津 支 部
〃	山 本 奈 奈	伊勢度会支部
〃	原 条 真 奈	志摩支部
〃	神 保 駿 也	尾鷲支部
〃	道 中 る か	南紀支部
〃	東 野 紅 葉	伊賀支部



よい歯の児童・最優秀 碩野健太くん

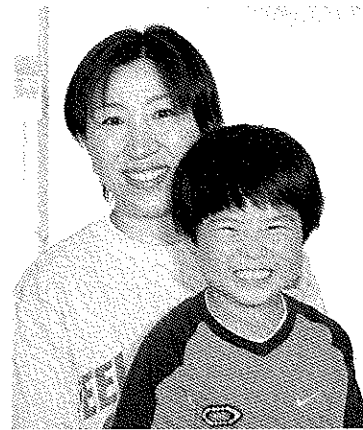
母と子のよい歯・最優秀

「母と子のよい歯のコンクールに参加して」

脇田直子・恵輔

この度、母と子のよい歯のコンクールで最優秀に選んで戴きました。子どものころから歯を大切にしていたので、たいへんうれしく思っております。私たちは平均よりは歯は丈夫できれいだろうなと思っておりましたが、上には上がいるので、私たちが選ばれるとは夢にも思っておりませんでした。

さて、私が子どもの歯科保健のために行ってきたことについて述べたいと思います。それは私が小学6年生の時に、地元上野市（現伊賀市）のよい歯のコンクール（小学生の部）の学校代表に選ばれたことに遡ります。このときは最終選考まで残ったものの、残念ながら最優秀賞には選ばれませんでした。しかし、このことはたいへん自信になったと同時に、さらに歯を大切にしようと思うきっかけとなりました。その時の担任の先生が、給食後の歯磨きを私たちと一緒にベランダに並んで毎日していました。磨き方の解説もしながら、みんなと顔を見合わせながら、たいへん楽しく歯磨きをした思い出があります。同時にその頃、母から「女性は子どもを産むと歯が悪くなりやすいから、歯磨きを丁寧にし、カルシウムのたくさん入った食べ物を摂りなさい。」と教わりました。そしてその後、カルシウム豊富な食品は意識して摂るようにしていました。もちろん歯磨きも欠かしませんでした。特に就寝前の歯磨きは鏡を見な



母と子のよい歯・最優秀 脇田さん親子

がら丁寧にしました。

現在、二人の子どもの母となりました。子どもたちにも歯の大切さを教えている最中です。子どもの歯磨きは歯が4本になった時から始めました。その頃、気を付けていたのが「歯磨きは楽しいもの、気持ちいいもの」と子どもが思えることでした。磨いてあげているときに私が変な顔で笑わせたり、「上手だね。」と褒めてあげたりして、今ではすっかり歯磨きが習慣になりました。そして歯磨きが良いコミュニケーションの一つとなっています。もちろんこれからも続けていきたいと思っています。

今回の受賞が息子にとっても「歯を大切にすることをきっかけ」になって、良い思い出となってくれることを願います。



平成19年度

歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール審査講評

津市立栗真小学校教頭 古金谷 初美

歯・口の健康を推進する運動の一環として取り組まれている「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」へ県下から460校、8,842点もの応募がありました。その中から、小学校低学年の部10点、小学校高学年の部12点、中学校の部9点

について、慎重に審査を行いました。

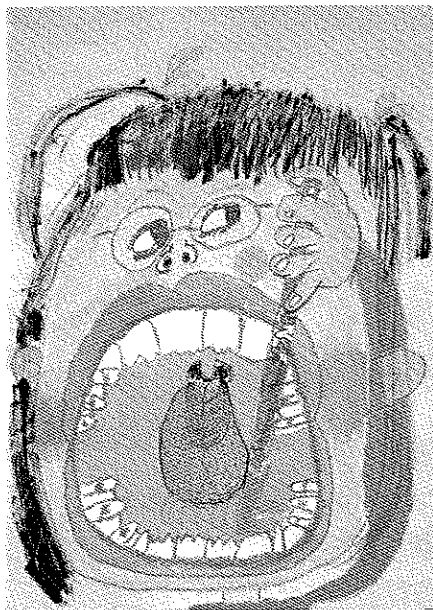
今年度も、作者の気持ちが込められた素晴らしい作品ばかりで、丁寧に仕上げられていました。

まず、小学校低学年の作品は、全体的に明るく伸び伸びと描きながらも、歯ブラシの持ち方や歯

並び等の細かい部分にも気を配っているところに、歯磨き指導の普及の表れを感じました。特に最優秀の野村さんの作品は、大きく口を開けた表情や歯の並び方、下の歯を磨く時の歯ブラシの使い方等よく描けていました。歯の周りの緑の線と、腕が上に伸び歯ブラシが下を向いている構図にも良さがありました。2席・3席の作品も、パスや水彩絵の具をうまく使い、表情豊かに描かれていました。

次に、小学校高学年の作品は、歯磨き習慣の大切さを訴える作品の中に「かたい物を平気でかめる歯に」というように歯の健康と食とのつながりを訴える作品もありました。特に最優秀の橋本さんの作品は、かわいいオリジナルキャラクターを用いて歯磨きの習慣を訴え、同系色でまとめる中で、白い歯と青色の水玉が効果的でした。2席・3席の作品も個性が光り、すみずみまで心をこめて丁寧に描かれていました。

最後に中学生の作品は、技術の高さとアイデアに感心させられました。特に最優秀の篠原さんの作品は、ユーモアにあふれ技術も高く目をひきました。2席・3席の作品も効果的な色使いと画材の特徴を生かし、ポスターとして人の目をひくための作者の工夫が伝わってきました。



小学校低学年・最優秀 野村亜未さんの作品

今後も、アイデアのいっぱい詰まった個性あふれる作品を期待しています。そして、図画やポスターの作品を通して、口や歯の健康を守る運動が一層広がることを願って審査講評とします。



小学校高学年・最優秀 橋本紗弥子さんの作品



中学校・最優秀 篠原万美さんの作品

歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール 県 審 査 結 果

平成19年度

小学校低学年の部（図画・ポスター）

最優秀	野村 亜未	松阪市立徳和小学校	2年
2位	柴田 理恵子	桑名市立伊曾島小学校	2年
〃	田中 聖鷹	熊野市立遊木小学校	2年
〃	勝山 真衣	名張市立長瀬小学校	1年
3位	本間 南帆	津市立栗葉小学校	3年
〃	北村 暢章	伊勢市立城田小学校	2年
〃	東 竜聖	紀北町立引本小学校	2年
佳作	喜田 翔子	菰野町立千種小学校	3年
〃	前田 桃子	鈴鹿市立鼓ヶ浦小学校	2年
〃	稲田 遊	志摩市立成基小学校	3年

小学校高学年の部（図画・ポスター）

最優秀	橋本 紗弥子	伊勢市立明倫小学校	5年
2位	蛭川 遥香	桑名市立多度南小学校	5年
〃	小林 愛理	四日市市立高花平小学校	5年
〃	野末 夏海	津市立高岡小学校	6年
3位	國分 利恵	亀山市立昼生小学校	6年
〃	上野 碧海	紀北町立赤羽小学校	6年
〃	阪口 光	熊野市立荒坂小学校	5年
佳作	松田 悠希	鈴鹿市立合川小学校	4年
〃	長谷川 弘達	亀山市立亀山南小学校	6年
〃	花井 肖	松阪市立第四小学校	6年
〃	山川 真奈	志摩市立成基小学校	4年
〃	中島 悠貴	名張市立美旗小学校	5年

中学校の部（ポスター）

最優秀	篠原 万美	亀山市立亀山中学校	3年
2位	上村 未都	鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校	3年
〃	河北 亜希	伊勢市立宮川中学校	2年
〃	北村 理恵	尾鷲市立尾鷲中学校	1年
3位	富永 奈央	いなべ市立員弁中学校	3年
〃	小松 美穂	四日市市立港中学校	3年
〃	大西 菜月	松阪市立久保中学校	3年
佳作	川合 麻友	熊野市立木本中学校	1年
〃	山上 萌	伊賀市立緑ヶ丘中学校	2年

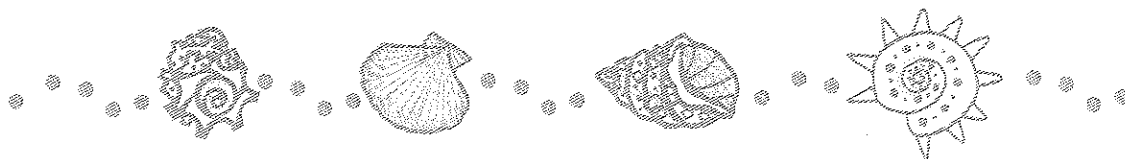
画像診断の注意事項

1. 少数歯周疾患の歯科パノラマ断層撮影

- (1) 歯科パノラマ断層撮影は、歯牙及び口腔の総覧的な診断が必要となる場合や、口内法では十分な診断が得られない場合等が適応とされています。
- (2) 一般に歯周疾患（P病名）の場合、総覧的な診断が必要と判断されるため算定が認められる場合がほとんどですが、少数歯の場合はその限りではなく、保険者等から疑義が呈されることもあるようですので注意して下さい（通常、全顎を上下左右4ブロックに分けたうちの3ブロックの病名があれば、パノラマ算定の必要性が認められます）。
- (3) 片顎が無歯顎である場合等、義歯を作製するために顎堤の状態を診査する目的も含む場合は、傷病名をMT・顎堤吸収異常として下さい。

2. 加圧根充確認の歯科エックス線撮影

- (1) 加圧根充加算の算定にあたっては、「根管充填後に歯科エックス線撮影（いわゆるデンタル）で気密な根管充填が行われていることを確認」することが必要です。
- (2) 何らかの理由（初診以前の過去の画像診断を参考にした場合等）で術前の画像診断を行っていない場合で、根充確認時が1枚目の歯科エックス線撮影となるような場合には、いわゆる症状確認の38点（診断料が50/100）ではなく48点の算定となります。
- (3) 歯科パノラマ断層撮影等で術前の診断を行った場合には、歯科エックス線撮影としては1枚目であっても、根充確認の歯科エックス線撮影は38点の算定となります。
- (4) 歯科パノラマ断層撮影での根充確認では、加圧根充加算算定の要件を満たさないで、ご注意ください。



会員事業部門生涯研修コーナー

●今月の生涯研修該当論文

日本歯科医師会雑誌

<VOL.60 No.3 6月号>

研修コード 090400

クリニカル「フッ化物配合歯磨剤の現状と臨床応用」

荒川浩久（神奈川県立歯科大学健康科学講座口腔保健分野教授）

研修コード 041000

サイエンス「高齢者の歯内療法への対応」下川公一（福岡県北九州市開業）

研修コード 011000

トピックス「病院歯科における研修1年目の評価について」田中義弘 他5名

研修コード 011000

座談会「歯科医師臨床研修必修化に伴う各機関の取り組みと事後評価」宮武光吉 他5名

研修コード 011000

FORUM「平成18年医療制度改革の施行状況（その2）」

梶尾雅宏（厚生労働省保険局医療費適正化対策推進室政策企画官）

<VOL.60 No.4 7月号>

研修コード 050300

クリニカル「口腔癌検診の普及と標準化をめざして」柴原孝彦 他1名

研修コード 041500

サイエンス「歯の移動のメカニズム」下野正基（東京歯科大学病理学講座教授）

研修コード 090400

クリニカル「包括歯科医療とメンテナンスの成果」

川村泰雄（医療法人川村会川村歯科梅田診療所院長）

研修コード 050300

クリニカル「歯周疾患治療と修復処置のトリートメント・プランニング（その1）」

高島昭博（福岡県開業）

研修コード 011000

FORUM「医療制度改革の幻想」太田謙司（日本歯科医師会医療管理・税務担当常務理事）

平成19年1月診療分歯科診療報酬状況（三重県）

		社会保険			国民保険		
		1件当 日数	1日当 点数	1件当 点数	1件当 日数	1日当 点数	1件当 点数
一般	本人	2.0	572.4	1,164.1	2.1	571.3	1,215.0
	家族	1.8	513.2	943.8			
老人		2.1	568.7	1,219.1	2.2	631.0	1,405.9

平成19年2月診療分歯科診療報酬状況（三重県）

		社会保険			国民保険		
		1件当 日数	1日当 点数	1件当 点数	1件当 日数	1日当 点数	1件当 点数
一般	本人	2.0	589.7	1,188.4	2.1	601.9	1,272.7
	家族	1.8	527.2	962.3			
老人		2.0	598.5	1,213.6	2.2	665.2	1,477.6

無料職業紹介所の利用について

三重県歯科医師会では、歯科医療技術者（歯科医師・歯科技工士・歯科衛生士・歯科助手）を対象とした、無料職業紹介事業を行っております。（歯科助手については、日本歯科医師会認定書取得者及び取得予定者とします）

この事業では、職業紹介を希望される場合、求職は働く意欲がある方なら常勤、パートを問いません。申し込みにより希望と能力に必ず職業に速やかに就くことができるよう極力お世話をいたします。

無料職業紹介所の利用法について

《求人者の場合》

○所定の求人申込書に必要事項を記入し提出してください。

尚、求人票の有効期限は3ヵ月です。

《求職者の場合》

○所定の求職票に必要事項を記入し提出してください。

《求人・求職の申請と紹介方法》

下記へ連絡を戴ければ、関係書類をご送付申し上げます。

（注）この事業に関する事項は、職業安定法関係法令及び通達に準じて運営されることとなっておりますのでご了承ください。

三重県歯科医師会内

社団法人 三重県歯科医師会

歯科医療技術者等無料職業紹介所

〒514-0003

津市桜橋2丁目120-2

TEL 059-227-6480

委員会便り

広報編集

日時：平成19年5月10日(木)
午後3時～4時30分
場所：三重県歯科医師会館3F研修室
協議事項：①シンボルマーク・ロゴについて
②三歯会報のあり方について
③三歯会報広告掲載基準について
④メルマガ登録者について
⑤広報編集事業のアンケート調査について

社会保障

日時：平成19年5月10日(木)午後4時～6時
場所：三重県歯科医師会館3F情報センター
協議事項：①行政指導関係について
②平成19年度社保国保審査会(歯科)
・歯科医師会連絡協議会協議題について

学術

日時：平成19年6月14日(木)
午後2時～3時40分
場所：三重県歯科医師会館
2F公衆衛生指導センター
協議事項：①平成19年度三重県歯科医師会学術研修会の講演内容と講師選定について
②平成19年度三重県歯科医学大会役割分担について

- ③学会当日アンケートについて
- ④今後の日歯オンデマンド配信要約事業について

公衆衛生

日時：平成19年6月28日(木)
午後2時～4時40分
場所：三重県歯科医師会館3F情報センター
協議事項：①事業所歯科健診票の作成について
②学校歯科保健アンケートについて

障害者

日時：平成19年7月1日(日)午前10時～12時
場所：三重県歯科医師会館3F情報センター
協議事項：①ヒヤリハットの対処法について
②地震対応マニュアルについて
③救急処置講習会について

障害者歯科センター

5月障害者歯科センター診療状況
診療日：8日
診療担当者：常勤1名、非常勤6名(内訳・会員5名、大学1名)
延患者数：157名
6月障害者歯科センター診療状況
診療日：8日
診療担当者：常勤1名、非常勤7名(内訳・会員6名、大学1名)
延患者数：147名

5・6月会務日誌

- 5. 9 日歯戦略会議に齋藤常務理事出席
- 10 理事会、監事会、社会保障委員会、広報編集委員会、歯科助手講習会開催
- 12 東海地区歯科医師会役員連絡協議会が静

- 岡県にて開催され役員出席
- 東海地区歯科医師会学術担当役員連絡協議会が静岡県にて開催され高森理事出席
- 15 住民参加による新8020運動推進のための

- ワークショップが東京都にて開催され羽根理事出席
- 16 後期高齢者医療制度担当者が東京都にて開催され中井常務理事出席
- 17 選挙規程改定臨時委員会、三重県歯科保健大会実行委員会開催
みえ・医療と健康を守る会に峰会長出席
- 20 歯科助手講習会開催
三重県警察医会理事会に橋本副会長、石垣専務理事、田所常務理事、齋藤常務理事、陣田常務理事、東理事、武田理事出席
- 23 三重県国保連合会介護給付費審査委員会に石垣専務理事出席
日歯社会保険委員会に田所常務理事出席
- 31 三重県学校保健会理事会に森谷副会長、中井常務理事出席
三重県学校保健会評議員会に森谷副会長、羽根理事、津田公衆衛生委員出席
6. 6 日歯戦略会議に齋藤常務理事出席
生活習慣病予防等を目指した歯・口の健康づくり調査研究事業連絡協議会が東京都にて開催され羽根理事出席
- 7 理事会開催
- 14 学校説明会、学術委員会、新審査員オリエンテーション、社保国保合同協議会事前打合せ会、平成19年度歯科医療機関指導・監査等実施計画打合せ開催
- 16 東海・信越地区歯科医師会専務理事連絡協議会が三重県にて開催
- 17 みんなの歯科ネットワーク設立記念シンポジウムが東京都にて開催され社保担当理事出席
- 20 日本学校歯科医会第71回総会に森谷副会長出席
- 21 社保国保審査委員会・歯科医師会連絡協議会開催
松阪支部救急処置セミナーに福田理事出席
- 28 支部長会、公衆衛生委員会、よい歯の母と子並びに児童生徒の歯審査、選挙規程改定臨時委員会開催
三重県三師会幹事会に峰会長、橋本副会長、森谷副会長、石垣専務理事出席
- 30 第4回日本スポーツ・健康づくり歯学協議会、第18回日本スポーツ歯科医学会総会・学術大会が沖縄県にて開催され辻理事、高森理事出席

会 員 消 息 の ペ ー ジ

新入会員紹介



かみじょうひでとし
上條英利先生（6. 2付）
鈔四日市市小古曾2068-1
ひっじ歯科口腔外科クリ
ニック
電 話 059-349-6480
F A X 059-349-6481
（四日市支部）

住所変更

大岩逸朗先生（志摩）
鳥羽市鳥羽1丁目2-10
電 話 0599-25-5121

診療所・住所変更

富田 薫先生（伊勢度会）
（診）伊勢市桶部町263-69
富田歯科医院
電 話 0596-22-8282
（住）伊勢市岩淵1丁目6-19
プレステ16番館伊勢601



診療所名変更

萩田修二先生（桑員）
医療法人おぎた小児歯科

謹んでおくやみ申し上げます



生川よし先生（鈴鹿支部）
去る4月29日、お亡くなり
になりました。
享年88歳

診療所廃止

井本誠一先生（伊勢度会）

診療所（分院）廃止

瀧川 尚先生（津）、瀧川 勇先生（津）



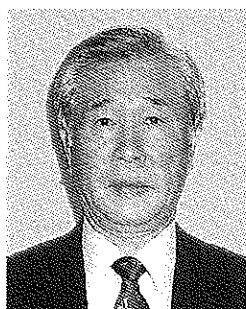
本会会員数（7.1現在）

一般会員	693名	勤務会員	24名
終身会員	138名	特別会員	3名
法人会員	5名	計	863名
日歯会員数	65,306名（5.31現在）		

顧問の交代について

市川朋生税理士がご病気のため本会顧問を辞任されたことに伴い、植村公順税理士が第198回定時代議員会にて8月1日より顧問に委嘱されました。

うえ むら こう じゅん
植 村 公 順 先 生



<略 歴>

昭和39年4月 名古屋国税局総務部採用
昭和54年7月 名古屋国税局所得税課
医師・歯科医師担当
平成1年7月 昭和税務署 所得税第一統括官
平成5年7月 富士税務署 副署長
平成10年7月 上野税務署長
平成11年7月 名古屋国税局課税第一部 所得税課長
平成13年7月 名古屋国税局 徴収部次長
平成14年7月 昭和税務署長
平成15年8月 住所地で税理士開業

住 所 〒519-0505
伊勢市小俣町本町583
電 話 0596-22-6088
FAX 0596-22-6098

告 知 板

平成19年度朝日大学歯学部同窓会三重県支部 研修会のご案内

日 時：平成19年9月9日（日） 午後3時～5時

場 所：ホテルグリーンパーク津6F（TEL：059-213-2111）

内 容：演題「口腔疾患治療のブラッシュアップ」

朝日大学歯学部口腔外科学分野顎顔面外科学教授 式守 道夫先生

会 費：無 料

※詳細は三重県歯科医師会ホームページ(<http://www.dental-mie.or.jp/>)会員専用サイトにてご確認下さい。

<問い合わせ先>

〒514-0009 津市羽所町513 すずき歯科 鈴木 晶博

TEL：059-229-1648 / FAX：059-229-2022

三重県歯科医師親善ゴルフ大会開催決定!!

来る10月18日木曜日、津カントリー倶楽部におきまして、標記大会を開催することとなりました。ジャンボ尾崎プロの設計による、タフなコースとして知られ、なかなか楽しい(!?)、挑戦意欲を掻き立ててくれるゴルフ場です。

毎年ご好評を戴いております参加賞は、今回も「松茸」を予定しております。また、各賞につきましても、皆様に喜んで戴けますよう現在検討中です。

県歯会員の方ならどなたでもご参加戴けます。是非皆様お誘い合わせの上、ご参加下さいますようお願い申し上げます。各地区ゴルフ会にご参加の先生方には、幹事の先生方を通して、日々詳細をご案内させて頂く予定です。地区のゴルフ会に参加しておられない先生方は、下記まで直接お申込み、お問い合わせ下さい。後日、詳細をお知らせいたします。

秋の良い日を皆様とゴルフ大会で過ごせる日を楽しみにしております。幹事一同昨年以上の大会にできるよう、努力しております。皆様のご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

三重県歯科医師会ゴルフクラブ 会長 笠原浩義

<申込み・問い合わせ先>

津支部・川森歯科クリニック 川森 英司

TEL：059-233-6480 / FAX：059-233-6482

E-mail：snc54743@nifty.com

お申込みの方は、お名前、所属支部、生年月日をご記入の上、FAXかメールでお願いいたします。改めて、ご連絡をさせて頂くことがあるかも知れませんが、よろしくお願い申し上げます。

平成19年度 四日市歯科医師会医療管理学会開催のご案内

日 時：平成19年10月21日（日） 午後1時～

場 所：四日市歯科医師会館 3階大会議場

講演内容：「歯科医療における感染管理」

愛知学院大学歯学部附属病院口唇口蓋裂センター 南 克浩先生

※講演会終了後

「AED取り扱い実習」

八神製作所 鈴木和夫氏

〈お問い合わせ先〉

社団法人 四日市歯科医師会

〒510-0093 四日市市本町9-12

TEL：059-354-8512 / FAX：059-354-5813

会員の広場

東海4県歯科医師親善ゴルフ大会 盛大に開催！！

去る5月31日木曜日、三重県歯科医師会ゴルフクラブ主催で鈴鹿カンツリークラブにおいて、盛大に開催されました。大会は今回で62回目を数え、参加者は各県とも20名を超え、総勢113名と多く、三重県からも46名の先生方にご参加戴きました。

当日は天候にも恵まれ、絶好のゴルフ日和でありました。皆様、各県の先生方と親睦を深められたようです。成績は、優勝を静岡県先生のさらわれてしまいましたが、鈴鹿の堀口秀春先生が、準優勝に輝かれました。そして、今年もまた、当県からブービー賞、ブービーメーカー賞を輩出してしまいました（ちなみに昨年も）。団体戦では、惜しくも愛知県に1打差で敗れてしまいました。

また、愛知県の上村晋也先生がホールインワンを達成されました。おめでとうございます。

ご参加戴きました先生方、誠に有難うございました。また、お疲れ様でした。今回ご参加戴けなかった先生方も次回は是非ご参加戴きますようお願いいたしております。

次回は岐阜県が幹事で、平成20年5月22日木曜日に名門・岐阜関カントリークラブにおいて開催予定です。詳細につきましては、後日お知らせいたしますが、お一人でも多くの先生方のご協力と、ご参加をお願いいたします。

三重県歯科医師会ゴルフクラブ

会長 笠原浩義

互 助 会 各 部 の 現 況

(19. 5. 1 ~ 19. 5. 31)

第1部 (疾病共済)

入会 2名 退会 1名 累計 802名 2,344口

収入累計 186,088,569円 { 繰越 186,088,569円
入金 0円

支 出 1,260,000円

残 高 184,828,569円 { 定期 128,000,000円
普通 6,841,969円
国債 50,021,000円

療養給付: 6名

第2部 (火災共済)

入会 2名 退会 1名 累計 824名 939口

収入累計 101,500,814円 { 繰越 101,498,096円
入金 2,718円

支 出 0円

残 高 101,500,814円 { 定期 92,920,000円
普通 8,580,814円

第3部 (災害共済)

入会 2名 退会 1名 累計 824名

収入累計 25,860,662円 { 繰越 25,857,940円
入金 2,722円

支 出 30,000円

残 高 25,830,662円 { 定期 22,300,000円
普通 3,530,662円

災害給付: 1名

歯 科 国 保 組 合 の 現 況

平成19年3月保険給付状況

		件 数	費 用 額	保険者負担額 (金額)
療養給付費	当月分	3,796	47,172,950	34,461,714
	計	39,238	487,106,016	349,325,109
療養費	当月分	63	363,301	258,477
	計	889	5,634,592	3,994,223
高額療養費	当月分	13		2,292,877
	計	187		17,502,037
移送費	当月分	—		—
	計	—		—
出生育児一時金	当月分	4		1,400,000
	計	42		13,350,000
葬祭費	当月分	3		240,000
	計	19		240,000
傷病手当金	当月分	14		644,000
	計	127		5,201,000

収 支 状 況

(18年度19年4月累計)

区 分	金 額
歳 入 合 計	1,198,452,580
歳 出 合 計	776,083,786
収 支 差 引 残	422,368,794

収 支 状 況

(19年度4月累計)

区 分	金 額
歳 入 合 計	45,702,072
歳 出 合 計	8,238,547
収 支 差 引 残	37,463,525

被保険者異動状況

(19年5月31日現在)

区 分	被保険者数	前月との比較
組 合 員	2,632	△ 24
家 族	2,040	△ 20
計	4,672	△ 44

編 集 後 記

広報編集委員会の役割の中に、三重県歯科医師会が発行しておりますメールマガジンの情報収集があります。各委員が分担してインターネットから、歯科、医療、健康に関するニュースを探しているのですが、その中で、先日、興味深い記事を見つけました。愛知県の看護短大が“非喫煙”を受験資格に入れたというものです（7/4中日新聞）。歯科大や医科大のキャンパス内も禁煙が増えているという記事を以前、三重県歯科医師会メールマガジンで紹介しましたが、非喫煙者を受験資格に

取り入れたのは全国でも初めてだそうです。社会全体が禁煙の方向に進んでいる中、近い将来、歯学部や医学部の受験資格も非喫煙者となったり、さらには、歯科医師、医師の国家試験の受験資格も非喫煙者という時代が訪れるかもしれません。

この三重県歯科医師会のメールマガジンは、毎月2回発行しています。県歯のホームページから登録できますので、ご興味のある先生は、是非、ご購入してみてください。

（広報編集委員・杉山拓紀 記）

三重県歯科医師会メールマガジン登録会員募集!!

三重県歯科医師会広報編集委員会では、メールマガジンの購読者を募集しております。

購読希望の会員の方は県歯会ホームページより登録して下さい。

尚、発行日は毎月10日、25日の2回となっております。（発行日は前後する場合がございます。）

また、会報等の郵送物につきましても、メール配信しておりますので是非ご活用下さい。

<参考：最新メルマガインデックス（H19. 7. 10発行）>

- 1 | 「舌苔（ぜったい）」ケアしたい口臭対策、多様な商品（6月17日）産経新聞
- 2 | 中国製歯磨剤、未表示のジエチレングリコールが検出
- 3 | 日本歯科衛生士会が認定歯科衛生士制度（6月18日）Dental Today
- 4 | モリタ製作所、歯科医向け撮影装置・パノラマとCT1台で（6月19日）日経新聞
- 5 | 医療安全コスト、患者1人406円 中医協分科会が調査
- 6 | 参加1,300機関の診療可否、7割が1年以上更新せず（6月20日）毎日新聞
- 7 | 部分入れ歯の回収箱設置 千葉、含有金属売り福祉に（6月20日）共同通信
- 8 | 緩和ケア病棟 緩和ケアNST導入で終末期のQOL向上（6月22日）Japan Medicine
- 9 | 苦行だが大人気、ビリーのDVD脂肪を燃やせトークで魅了（6月26日）毎日新聞
- 10 | 顎の“カクカク”悩む人に朗報、三重大など痛み半減サプリ開発（6月27日）中日新聞
- 11 | 歯科医の麻酔研修、11病院で指針逸脱 都が是正指導（6月28日）読売新聞
- 12 | 医療機関の領収書の発行義務、「知らなかった」半数（6月28日）読売新聞
- 13 | 初のシンボルマーク募集 三重県歯科医師会、PRに使用（6月29日）中日新聞